

●10月31日(木) ホーチミンへ向けて出発

今年のベトナム訪問は5名（中平順子さん、村木節子さん、駒形昭子さん、興津啓子さん、加藤牧子）が同行しました。例年、夕方に出発し深夜にホーチミン到着する便でしたが、今年は朝の便になりました。そのため埼玉県からの出発組は、集合時間に間に合わせるため前日から成田周辺のホテルに宿泊し出発に備えます。1日早い旅の始まりです。成田 9:30 発のベトナム航空 301 便で出発。現地時間 14:20 頃に到着。入国審査を終えて外にでてみると、少し蒸し暑く感じた程度でした。今回の旅程中はずっと過ごしやすい暑さだったように思います。ドライバーのウィさんとなかなか会えなかったのは、到着ロビー前の迎車が多くなかなか停車できるスペースが見つからなかったのだそうです。そのうち無事に会うことができ、いつもと変わらない笑顔で迎えてくれました。

宿泊は、ベント市場などが近くにある Hoang Lien Hotel。こじんまりとしたエントランスですが部屋は清潔でリーズナブルな料金です。チェックインし一旦部屋に荷物をおいて少し休んだ後、夕食に市内へ出かけました。



【水上人形劇】

水上人形劇はベトナムの北部の伝統的な人形劇ですが、ホーチミンでもいくつか劇場があり観光スポットのひとつになっています。メンバーのリクエストにより観に行きました。水の張られたステージにかわいらしい人形や動物が次々に登場します。ベトナムの民話・伝説・神話など題材とした内容をベトナム民謡の調べにのせ、テンポの早さとコミカルな人形の動きで観客を魅了してくれました。1時間弱くらいの観劇のあとは、併設するレストランで上陸後初の食事。ホーチミンにきたらこれでしょ！という「スイカのジュース」をみんなでオーダー。甘さもほどよくさっぱりした飲み口は旅の疲れをとってくれます。ウィさんを交えての楽しい食事で、よい旅のスタートとなりました。

●11月1日(金) コンテスト準備とピンチューセンター、CoCoRo 作業所訪問

今日から通訳兼コーディネーターの河村きくみさんが加わってくれます。午前中は、明日の刺繍絵コンテスト表彰式の準備に備えて、お菓子やおてふきなど必要なモノを買い出しにスーパーへ行きました。スーパーでは万引きを避けるためバッグを持ち込めないシステムになっています。車にバッグを置いてお財布だけを持って中へ。60人分のお菓子を選んでかごへ入れていくのは、ちょっと爽快な気分になります！



ホテルへ戻りお菓子を種類別に均等に分けて袋詰めをしていきます。今回は、きくみさんのアイデアで ZAKKA さんにて商品を買ったときに入れてくれる袋を分けてもらえることになりました。(ZAKKA さんに感謝申し上げます) 日本の方が寄付して下さった雑誌の付録のかわいい小物たちと一緒に、お菓子を袋に入れていきます。ホテルの一室が袋だらけになりました。また、表彰状や参加賞(目覚まし時計)の確認、賞金の準備なども合間の時間で行って行きました。そして大切な横断幕の年号を「2013」になるようシールを張り替えました。(このとき、横断幕の準備は万端!と思ったのですが、実はもう1箇所修正が必要だったことに当日の朝気づくのでした)



準備が一段落したら、ランチタイム。お世話になっている白井さんのベトナム料理レストラン「フーン ライ」へ行きました。春巻きなどの前菜も美味しいのですが、野菜やお肉や海鮮を炒めたいろいろなおかずがとても美味しいのです。白いごはんのせて食べるのはベトナムでも同じ。日本の家庭料理と似た食事はみんな大好きです。



今回、コンテスト表彰式のプログラムの中で、日本からのスタッフ全員で「カエルの歌」を輪唱したほか、「ぴよぴよたまご」の手遊びを披露することになり、夜にはその練習に励みました。中平さんは紙芝居を演じます。練習をしたらお腹が空いたので、ホテル横の中華レストランで美味しいお料理をいただきました。



●11月2日(土) 第12回刺繍創作コンテスト

刺繍コンテスト当日を迎えました。前日に準備した荷物をすべて車に詰め込みホテルを出発。会場へ向かう途中、大聖堂に寄りました。車の中からではありますが「今日が素晴らしい一日になりますように」とお祈りをしました。会場は昨年と同様のアンミンろう学校のホールです。到着後、まずは会場の設営にはいります。60名ほどのイスをならべ、年齢別に分けて左右に刺繍絵の作品を展示します。会場は前日にきれいに掃除がされてピカピカでした。会場側のお気遣いに嬉しく思います。ステージに横断幕を掲げているときに「開催回数が去年のままだね」とウィさんが気づいてくれて、急遽修正することに。アンミンに赤いシールの予備があったことから、無事に修正することができました。受付の準備も整ったころ、ビンアンセンター、キエンザン障がい児学校の生徒たちが続々と到着しました。



ホーチミンの大聖堂



設営が終わった会場



横断幕が「ELEVENTH」から「12TH」に！



受付をする生徒たち

10時になるときくみさんの司会進行で刺繍コンテストが始まりました。中平さんの開会の挨拶があったあと、ひとりひとり参加者が作品の前に立ってインタビューに答えていきます。中には見覚えのある顔もあります。初めて参加した生徒もいることでしょう。今年のテーマは「美（美しいもの）」。難しかった点は？という質問に、難しいところはなかったという子が多かったのは意外でした。



15歳以下の参加者 11名（欠席2名は代理者）



16歳以上の参加者 5名

16人の作品の紹介があったあとは、お楽しみタイム。今年もマジシャンのお兄さんが来てマジックショーを披露してくださいました。毎年、ショーの内容がグレードアップしていくのが素晴らしいです。今回はうさぎや蛇まで登場しました。そして、私たちスタッフからも紙芝居「ひよこちゃん」の実演と「ころころたまご」の手遊びと「かえるの歌」の輪唱を披露しました。



首に蛇をまかれる！



「ひよこちゃん」



「ころころたまご」

お楽しみタイムのあとに続いてランチタイムです。フランスパンのサンドイッチかおこわのチョイス。どちらも美味しい！みんな集まって、思い思いの場所で食べました。



午後からはいよいよ授賞式。まずは参加賞の授与から。16名全員がステージに上がり、賞状と参加賞を授与されます。ZAKKAさんよりサプライズのお花のネックレスとお菓子のプレゼントもありました。



賞状と参加賞の授与



ZAKKA のみなさまと・・・

今年度の受賞者一覧

15歳未満の部

奨励賞 チャン・マイ・トゥーさん

奨励賞 グェン・ティ・トユイ・リエンさん

優秀賞 レー・ティ・ジエウ・モーさん

最優秀賞 グェン・ティ・トゥー・イエンさん

ビンアンセンター

キエンザン障がい児学校

キエンザン障がい児学校

キエンザン障がい児学校

「ベトナムの魅力」

「勤勉」

「親子」

「環境保護」

16歳以上 20歳未満の部

奨励賞 グェン・ティ・ホン・トオーさん

優秀賞 レー・ティ・ゴック・チンさん

最優秀賞 グェン・ティ・カット・リンさん

ビンアンセンター

ビンアンセンター

ビンアンセンター

「私の故郷」

「学生時代の美しさ」

「幼少時代」

国際ソロプチミスト利根めまた賞

15歳未満の部

チャン・ティ・トウイ・ユーンさん

ビンアンセンター

「ベトナムの女性の美しさ」

16歳以上 20歳未満の部

チャン・ティ・チュック・ダオさん

ビンアンセンター

「ベトナムの花の美しさ」

奨励賞・優秀賞受賞者との写真撮影



そして最優秀賞が2名。



最後に作品をもって参加者とスタッフとで集合写真を撮りました。



参加した生徒と先生たちをお見送りした後は、イスを片づけゴミをまとめ簡単な掃除をして元の状態に戻します。みんなの手際の良さであっというまに撤収作業が終わりました。

ホテルの近くにオープンしたカフェでお茶をいただきながら反省会をしました。反省会も恒例となっています。大切なイベントが無事に終わった安堵感の中、一人ずつ感想をのべあいます。来年のコンテスト開催は未定とのこと。どんな形で活動が展開されていくのでしょうか。そしてどんな形で私たちが関われるのか楽しみでもあります。



夜は食事の後、市内のオペラハウスでこの1年くらい上演されているAOショーを観に行くことに！きくみさんのついででいい席のチケットを手配していただきました。オペラハウスは、通常の観光では中に入ることができず外観のみの見学となります。そういう意味でもとても貴重な体験になりました。

【AO ショー】

ベトナム伝統楽器の生演奏、竹や籠を使ったアクロバティックダンス、ストリートダンス、創作ダンス、寸劇(コメディ)、雑技団のような身体芸術をミックスさせたショー。公演時間は約1時間。20～30代前半のベトナム人(男女)が繰り出すショーは、とても躍動感があります。



●11月3日(日) 休日・市内観光

今日は休日。ということで市内観光などをしました。午前中はホーチミンの目抜き通りであるドンコイ通りの土産屋さんをひやかしつつ、ドレスのオーダーをする方も。旅行中に生地とデザインを選んでオーダードレスが作れるっていいですね。ホーチミン観光の楽しみのひとつです。少し路地を入るとセレクトショップやセンスのいい民芸品を扱うお店もあります。ランチはファストフードのフォーのお店で。午後はみんなでマッサージを受けにいきました。1時間かけて全身をほぐしてもらいました。夕方はベンタン市場でドライフルーツやナッツなどをお土産に買いました。惜しげも無く試食させてもらえます！ナイロンで編んだかごなどもここで買えます。女性にとって買い物は楽しい！充実した休日になりました。



ベンタン市場の乾物屋さん





ベトナムで食べたお料理

【ビンチューセンター訪問】

午後の予定の最初はビンチューセンターを訪問すること。日本から同行した駒形さんはベトナムの3人の子どもたちへ学費を支援する里親プログラムに参加しています。ビンチューセンターで支援している里子に会うことがこの旅の目的のひとつ。勉強したくても家が貧しくて学費が出せない家庭がたくさんあります。勉強したいという意欲があれば成績にかかわらず支援を受けられるそうです。写真でのやりとりはあったものの初めて対面する駒形さんは前日からとても緊張されていました。そして、それ以上に3人の子どもたちはもっと緊張していました。高学年の生徒さんが二人、低学年の生徒さんはお母さんと一緒に来ていました。通訳を介して子どもたちの話を熱心に聴く駒形さん。こうして実際に対面できる例は少ないと思いますが、支援する側もされる側も実際に会えると安心しますね。日本から持参したかわいいお土産を渡して最後にみんなで記念撮影。



【V-Heart G-CoCoRo 作業所訪問】

ビンチューセンターを訪問したあと、CoCoRo 作業所を訪問しました。ホーチミン市中心部から車で約 25 分、タンソンニャット空港から車で約 15 分のところにあります。ここでは、知的に障がいのある仲間達が、スタッフに指導を受けながら月曜～金曜まで織物の作業をしています。毎年ベトナムにくると毎回訪問していますが、いつもみんなとびっきりの素敵なお笑顔で出迎えてくれます。今回もひとりひとり挨拶をしてくれました。そして仲間のリンちゃんがスタッフに教えてもらった「とうもろこしミルクジュース」を作って、全員にごちそうしてくれました。とうもろこしとミルクはとても相性がよくて、冷たくて甘いジュースは渇いた喉を一気に潤してくれました。ごちそうさまでした！そして、CoCoRo のみんなが作ってくれた織物を使った小物やバッグなどたくさん購入することができました。



●11月4日(月) キエンザンへ出発

今日から一泊かけてホーチミンを離れキエンザン省へ向かいます。明日、キエンザン障がい児学校を訪問するためです。今日はその移動日。きくみさん、ウィさんの提案で道中、蓮の花が広がる「蓮田」に立ち寄ることになりました。市内を出る前に中平さんがTシャツを購入し替えました。オレンジがとてもお似合いです！



ドライブインで！



向こうに蓮田が広がります

蓮田までホーチミンから車で3時間くらいでしょうか。郊外の道はアスファルトで舗装はされていますが、ところどころ穴が空いていたり凹凸があったりして車が揺れるので、座席でぴよぴよ跳ねながらの道程でした。しばらくすると車窓に「蓮の花」が見られるようになりました。道案内のため広報？担当の方が途中まで迎えにきてくれました。蓮田の見学の前に建築物の遺跡を見に行きました。メモをとるのを忘れてしまったのですが、かなり古いものだからレンガの基礎が見られました。



遺跡には屋根が作られ保護されています



今年の9月にオープンしたという「Dong Sen Thap Muoi」。ベトナム語で、Dong が沼（たぶん）、Sen が蓮、Thap Muoi は地名だとのこと。入り口から小舟にのって蓮田へ向かいます。



ここを訪れる邦人は初めてとか・・・(本当でしょうか) しばらく沼の中を進んで小舟をおりて蓮田に近寄ってみました。ピンク色のきれいな花です。蓮の花はとても綺麗なのに、綺麗な水では育たないそうです。汚れを浄化して花開く…本当に仏様を連想するお花だと知人から聞き、なるほどと思いました。このあたりはメコンデルタ地帯で、現在は雨がたくさん降って水位があがっているのだそうです。本当ならこの東屋の周囲は蓮の花に囲まれているのだそうですが今回は水上コテージのようでした。



この東屋にあがってランチタイム。まずは、ロータスティー（蓮茶）をいただきます。続いてお食事。蓮の新芽に、焼いた「雷魚」の身と野菜とミーという麺をくるみ食べるもの。結構いけます。食後は竹のチェアにごろりと横たわって風に癒やされる・・・。「蓮」好きにはたまらない楽園でした！



こちらがお花のアップ。ロータスティーは、茶葉をこの花の中にある黄色い雌しべで香り付けしたものだそうです。予約しておくと、一晩、花の中に茶葉をいれて香りをつけて「おもてなし」のお茶を準備してくれるそうですよ。

ベトナム語ですが、HPはこちらです。

<http://dongsenthapmuoi.com/>

お腹も満たされたあとはキエンザンへ向かいます。フェリーでメコン川を渡ります。



夕暮れ時が美しいメコン川。

途中、カンボジア国境近くの街、チャウドックを經由してチャウフー寺にお参りしてからキエンザンへ向かいました。到着したのは 21 頃。昨年夕食を食べたお店が美味しかったので行ってみましたが、すでにクローズ（かお休み）。別のフォーのお店に入り夕食をとりました。昨年と同じホテルに宿泊。お部屋がきれいになっていました。長旅お疲れ様でした。

●11月5日(火) キエンザン障がい児学校訪問

朝食は恒例の川沿いのレストランでいただきました。メニューは欧米式で卵、ソーセージ、サラダにパン。そしてベトナムコーヒー。



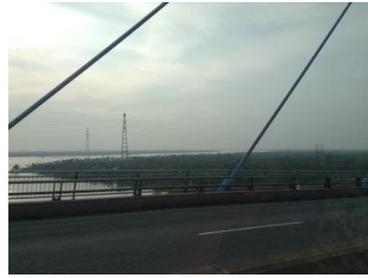
ところが、この後私はお腹が痛くなってしまいました。濃いベトナムコーヒーをストレートで飲んだことが原因かも？ときくみさんの推察。苦しそうな私に「万能薬だよ」と手渡してくれたのはベトナムで売っている「風油精」。緑色の液体のはいった小瓶のフタをあけて、おへその周りにちょんちょんと塗ってすりすり擦り込みました。しばらくすると、お腹のあたりがスーツとしてきて、次にカーツとしてきました。中平さんには車の中でマッサージのお手当をしていただき、お腹の調子も落ち着いてきました。お二人には助けていただき感謝します。

学校につくとホンシスターが迎えてくれました。挨拶をしてお土産をお渡しし、各教室の授業や刺繍をしている様子を見学しました。刺繍をしている方はこの学校の卒業生。中にはお子さんを連れている方もいらっしゃいます。フランスからの注文を受けて製品に刺繍をしているのだそうです。



ランチはシスター達が用意してくれたお料理をいただきました。本当に美味しくお腹をこわしているにもかかわらずたくさんいただいてしまいました。ごちそうさまでした。

シスター達とお別れしたあとは、一路ホーチミンへ。デルタ地帯にはあちこちにメコン川の支流が見られます。帰り道もずっと川沿いを走ります。メコン川をフェリーや大きな吊り橋で二度渡りました。



川沿いにレンガを焼く釜が並ぶ 手売りのお菓子、美味しい！ 橋からの雄大な眺め

ホーチミンまでは寄り道をせずに帰っても6, 7時間かかります。途中、信号もなく並走するバイクの列を追い越しながらの運転は単調にもなりますし大変ですね。街なかと違ってバイクもスピードを出しています。そのためか何度か交通事故の現場も目撃しました。いつも安全運転をしてくださるウィさんには感謝です！本日も長旅お疲れ様でした。

●11月6日(水) ビンアンセンター、FFSC 訪問

本日は、スケジュールの最終日。午前中は市内から 30 分くらいのところにあるビンアンセンターを訪問しました。ここは文字を学ぶ幼稚園生くらいの子供から小学校高学年までのクラスがあります。そして小さいながら宿舎もあり、ここから外部の学校にかよっている中高生もいるようです。5階建てのビルの屋上にはチャペルもありきれいな環境で勉強できるようになっていました。



ていねいに文字をかいていく生徒

お菓子を配ってみんなで記念に（低学年クラス）

また、上階は刺繍製品を作る作業所になっており、コンテストに参加したメンバーも作業をしていました。工程表にそって分担して作業を進めているようです。



裁断

ミシン

アイロン



縫製



刺繡の下絵つけ

ビンアンセンターにお別れしたあとは、FFSCの事務所を訪問します。ホーチミンにある6~7個のセンター（学校）を取りまとめている場所になります。中平さんが日本から預かっていった寄付金をFFSCへお渡ししました。ここでは各センターで作られた刺繡製品を買うこともできます。日本からのメンバーもお土産や販売用にたくさん購入しました。こちらでもセンターのスタッフの方が作ってくださった食事をお昼にごちそうになりました。ベトナムのお料理は日本人の口にもとてもよくあい美味しくいただきました。3度目の訪問になると、だんだんとスタッフとも顔見知りになり、再会の喜びを分かち合えるのはうれしいことです！最後にみんなで記念撮影をしました。こうして全員揃って写真に収めるということは記録という意味でも思い出をたどるという意味でも大切だと報告書を書きながら実感します。



すべての日程をおえて、本日の最後のイベントは、ウィさん、きくみさんのご家族とそろっての食事会です。ベトナムの伝統的な音楽の演奏を聴きながら美味しい食事を担当しました。きくみさんご主人の二人息子さんも毎年その成長ぶりが感じられます。楽しいひとときをみなさまと過ごせて幸せでした。



●11月7日(木) 帰国

雨の音で目が覚めました。かなり強く降っていました。ホーチミンでは雨が降ると道路が冠水するので、空港まで無事たどり着けるか不安になりながら支度をします。4時頃にロビー集合し出発。雨は降り続いていましたが、車は無事に空港まで辿り着くことができました。荷物をパッキングし、チェックインを済ませるまでウィさんが入り口で待っていてくれました。最後まで本当に心強かったです。出国カウンターを通過し、ほどなくしてホーチミン6:00発のベトナム航空302便に乗り込みました。早朝だったため、みなさん機内では熟睡でした。

今回も無事に訪越スケジュールを終えることができて何よりでした。これも現地でお世話になったウィさん、きくみさんのおかげです。大変お世話になりありがとうございました。そして、出発直前まで体調がよくなかったという中平さん。ホーチミンで少しずつ元気を取り戻されたご様子で良かったです。同行した村木さん、駒形さん、興津さん、みなさまと一緒にできて楽しかったです。ありがとうございました。